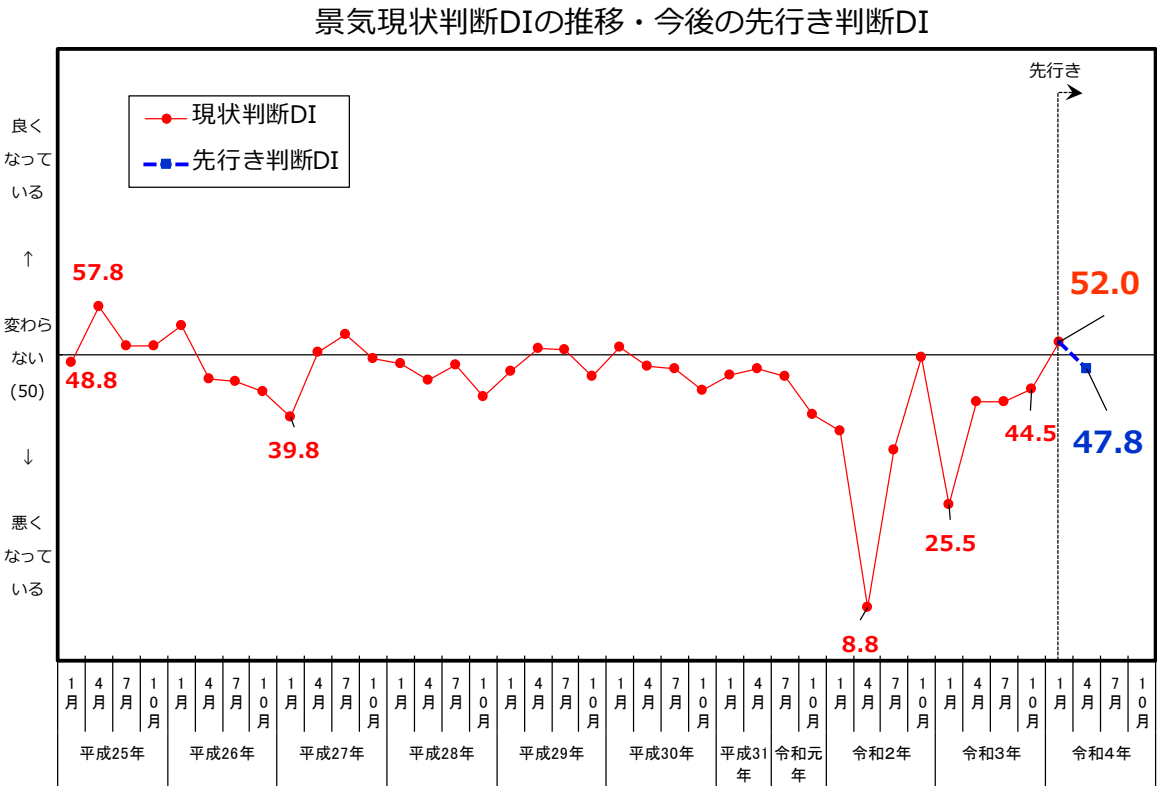


青森県景気ウォッチャー調査 (令和4年1月期)

調査期間 令和4年1月4日～1月27日 回答率 100%

概 況
<p>1月期の景気の現状判断D Iは52.0となり、前期から7.5ポイントの上昇となり、景気の横ばいを示す50を16期ぶりに上回った。</p> <p>先行き判断D Iは、現状判断D Iと比べて4.2ポイント低下の47.8となった。</p>



令和4年2月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント低下、「やや良くなっている」が25.0ポイント上昇、「変わらない」が20.0ポイント低下、「やや悪くなっている」が1.0ポイント低下、「悪くなっている」が3.0ポイント低下となった。

全体では52.0となり、前期から7.5ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を16期ぶりに上回った。

判断理由では、全国的に新型コロナウイルス感染者数が減少したことによる年末年始の人出の増加や、第5波があった3カ月前と比べると徐々に回復しているといった声がある一方で、ガソリン・灯油を始めとする物価の上昇や年末の大雪による来客数の減少、1月中旬以降の感染拡大の影響を挙げる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で8.0ポイント上昇、企業関連で6.9ポイント上昇、雇用関連で3.6ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区で上昇し、東青、県南、下北で景気の横ばいを示す50を上回っている。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が1.0ポイント上昇、「やや良くなる」が16.0ポイント低下、「変わらない」が11.0ポイント上昇、「やや悪くなる」が5.0ポイント上昇、「悪くなる」が1.0ポイント低下となった。

全体では、今期調査の現状判断DIと比べて4.2ポイント低下の47.8となり、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、県内含む全国的なオミクロン株感染者の増加や、1月中旬以降の急速な感染拡大といった第6波による影響を挙げる声があるほか、景気を左右するほどの直感的な材料が見当たらないといった先行きの不透明感を挙げる声があった。また、物価の上昇による影響や、一部業種でウッドショックや半導体不足の影響を挙げる声もあった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で4.7ポイント低下、企業関連で6.9ポイント低下、雇用関連で7.1ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、東青、県南、下北でポイントが低下した。

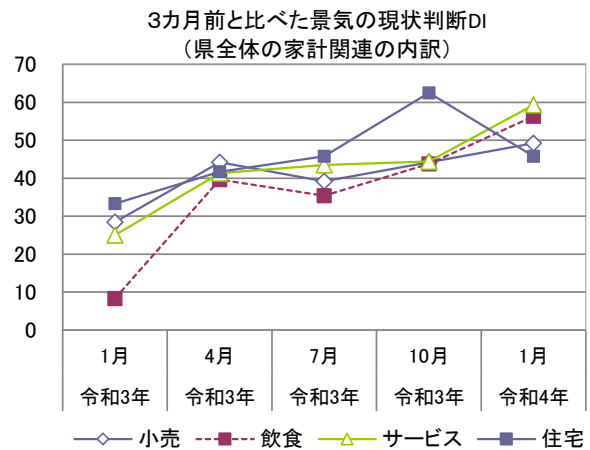
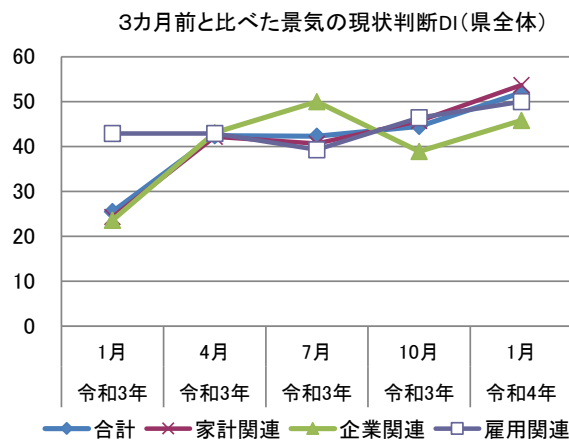
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

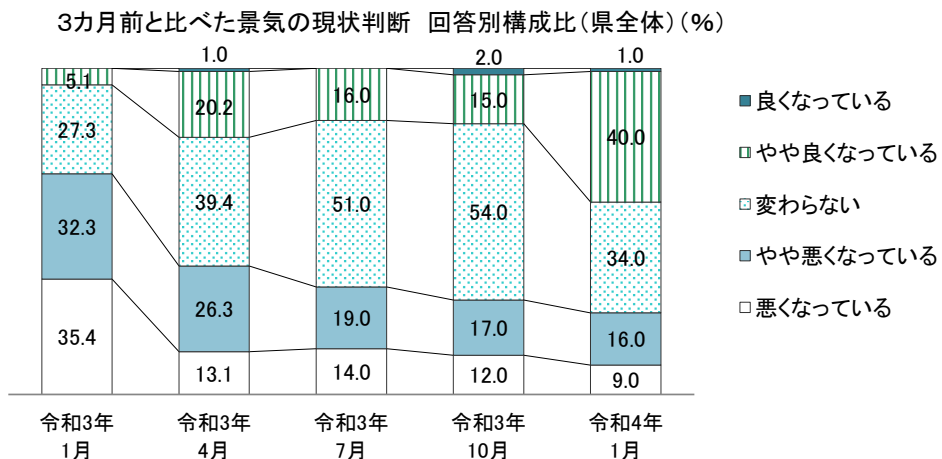
n = 100

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	25.5	42.4	42.3	44.5	52.0	7.5
家計関連	24.3	42.2	40.7	45.7	53.7	8.0
小売	28.4	44.2	39.2	44.2	49.2	5.0
飲食	8.3	39.6	35.4	43.8	56.3	12.5
サービス	25.0	41.3	43.5	44.4	59.3	14.9
住宅	33.3	41.7	45.8	62.5	45.8	▲ 16.7
企業関連	23.6	43.1	50.0	38.9	45.8	6.9
雇用関連	42.9	42.9	39.3	46.4	50.0	3.6



②回答別構成比(%)

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	1.0	0.0	2.0	1.0	▲ 1.0
やや良くなっている	5.1	20.2	16.0	15.0	40.0	25.0
変わらない	27.3	39.4	51.0	54.0	34.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	32.3	26.3	19.0	17.0	16.0	▲ 1.0
悪くなっている	35.4	13.1	14.0	12.0	9.0	▲ 3.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 100

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	37.1	51.3	53.3	63.3	47.8	▲ 15.5
家計関連	38.5	53.4	53.3	64.7	49.0	▲ 15.7
小売	37.1	52.5	48.3	62.5	50.8	▲ 11.7
飲食	33.3	56.3	64.6	68.8	41.7	▲ 27.1
サービス	40.7	54.8	58.3	68.5	49.1	▲ 19.4
住宅	45.8	45.8	33.3	50.0	54.2	4.2
企業関連	27.8	43.1	52.8	55.6	38.9	▲ 16.7
雇用関連	46.4	50.0	53.6	67.9	57.1	▲ 10.8

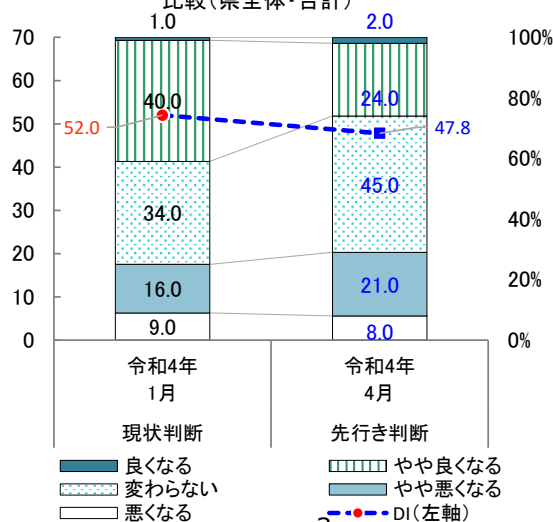
③ 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
合 計	52.0	47.8	▲ 4.2
家計関連	53.7	49.0	▲ 4.7
小売	49.2	50.8	1.6
飲食	56.3	41.7	▲ 14.6
サービス	59.3	49.1	▲ 10.2
住宅	45.8	54.2	8.4
企業関連	45.8	38.9	▲ 6.9
雇用関連	50.0	57.1	7.1

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
良くなる	1.0	2.0	1.0
やや良くなる	40.0	24.0	▲ 16.0
変わらない	34.0	45.0	11.0
やや悪くなる	16.0	21.0	5.0
悪くなる	9.0	8.0	▲ 1.0

現状判断と先行き判断との
比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

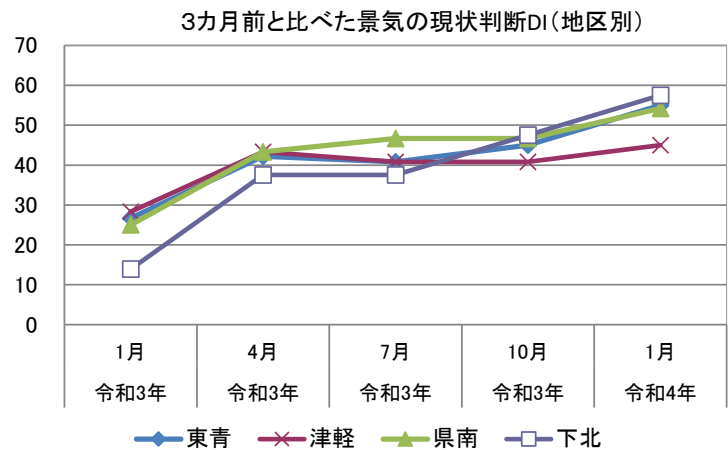
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

① D I

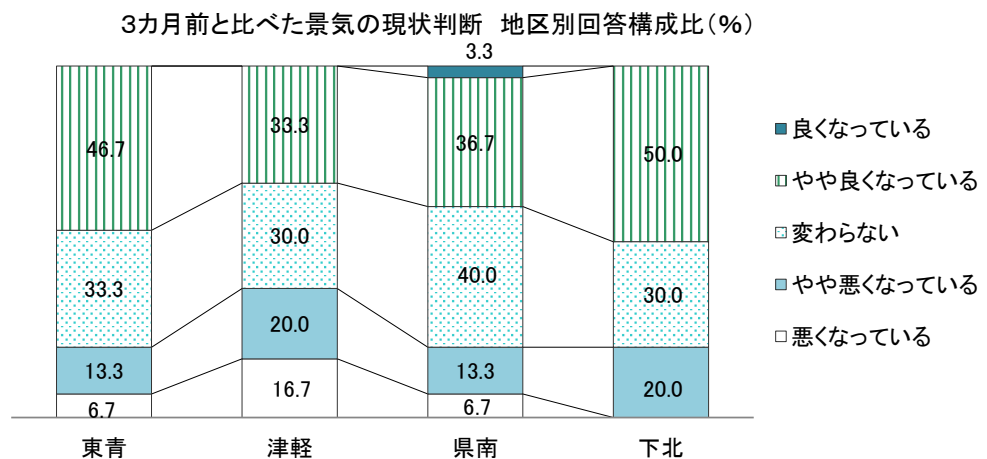
n = 100

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	25.5	42.4	42.3	44.5	52.0	7.5
東青	26.7	42.2	40.8	45.0	55.0	10.0
津軽	28.3	43.3	40.8	40.8	45.0	4.2
県南	25.0	43.3	46.7	46.7	54.2	7.5
下北	13.9	37.5	37.5	47.5	57.5	10.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	3.3	0.0
やや良くなっている	46.7	33.3	36.7	50.0
変わらない	33.3	30.0	40.0	30.0
やや悪くなっている	13.3	20.0	13.3	20.0
悪くなっている	6.7	16.7	6.7	0.0



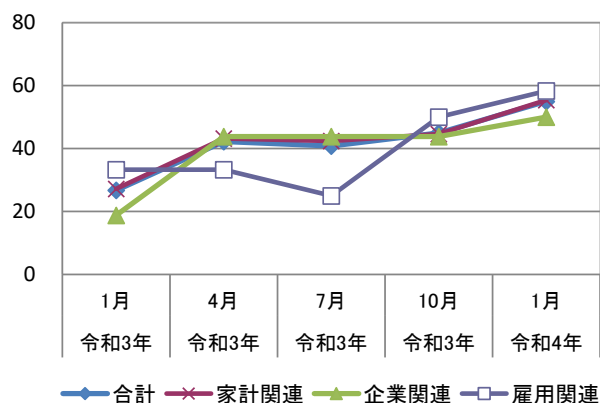
<東青地区>

①DI

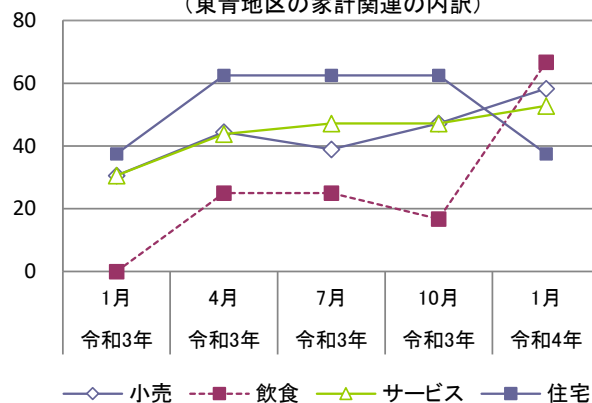
n = 30

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	26.7	42.2	40.8	45.0	55.0	10.0
家計関連	27.2	43.2	42.4	44.6	55.4	10.8
小売	30.6	44.4	38.9	47.2	58.3	11.1
飲食	0.0	25.0	25.0	16.7	66.7	50.0
サービス	30.6	43.8	47.2	47.2	52.8	5.6
住宅	37.5	62.5	62.5	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	18.8	43.8	43.8	43.8	50.0	6.2
雇用関連	33.3	33.3	25.0	50.0	58.3	8.3

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



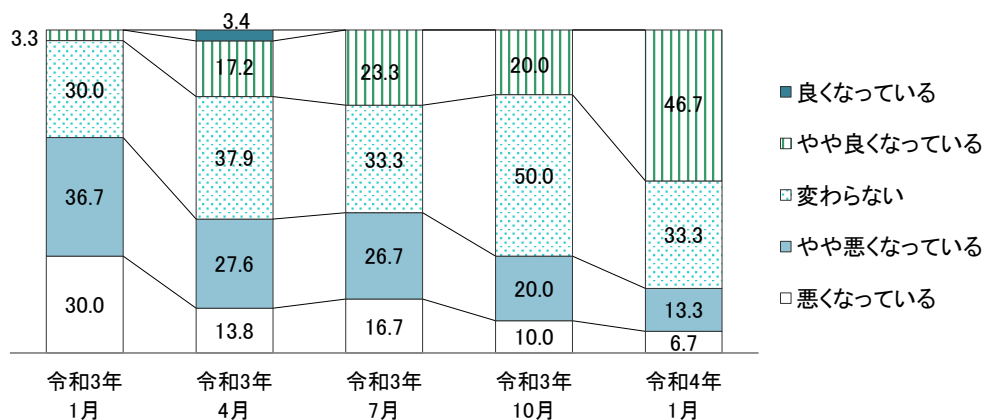
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	3.3	17.2	23.3	20.0	46.7	26.7
変わらない	30.0	37.9	33.3	50.0	33.3	▲ 16.7
やや悪くなっている	36.7	27.6	26.7	20.0	13.3	▲ 6.7
悪くなっている	30.0	13.8	16.7	10.0	6.7	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



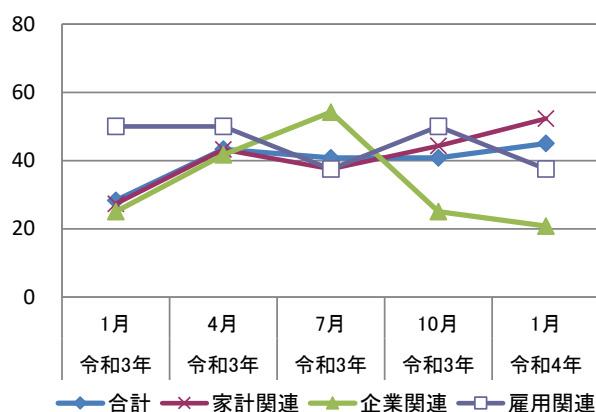
<津軽地区>

① D I

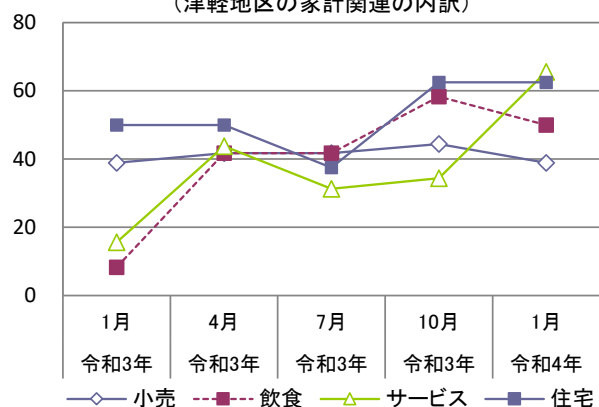
n = 30

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	28.3	43.3	40.8	40.8	45.0	4.2
家計関連	27.3	43.2	37.5	44.3	52.3	8.0
小売	38.9	41.7	41.7	44.4	38.9	▲ 5.5
飲食	8.3	41.7	41.7	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	15.6	43.8	31.3	34.4	65.6	31.2
住宅	50.0	50.0	37.5	62.5	62.5	0.0
企業関連	25.0	41.7	54.2	25.0	20.8	▲ 4.2
雇用関連	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



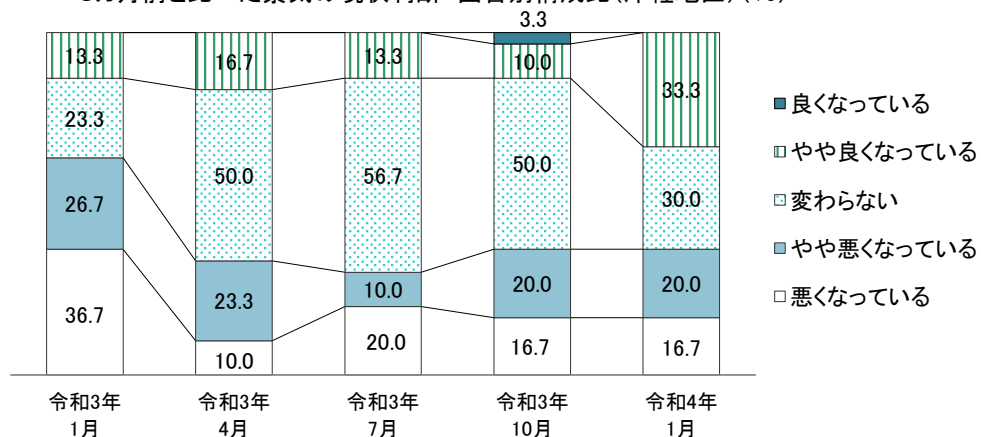
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	13.3	16.7	13.3	10.0	33.3	23.3
変わらない	23.3	50.0	56.7	50.0	30.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	26.7	23.3	10.0	20.0	20.0	0.0
悪くなっている	36.7	10.0	20.0	16.7	16.7	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



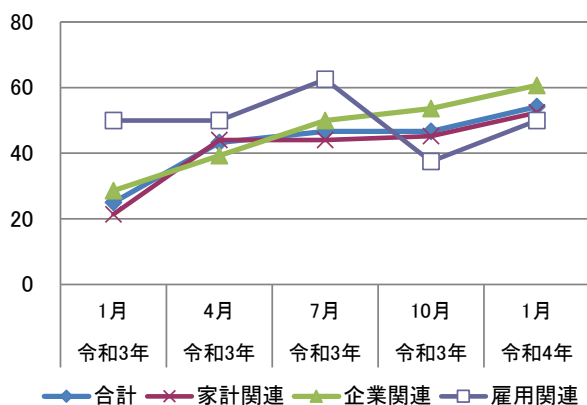
<県南地区>

① D I

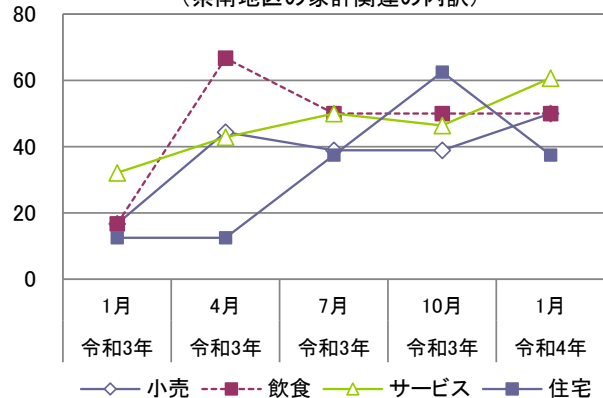
n = 30

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	25.0	43.3	46.7	46.7	54.2	7.5
家計関連	21.4	44.0	44.0	45.2	52.4	7.2
小売	16.7	44.4	38.9	38.9	50.0	11.1
飲食	16.7	66.7	50.0	50.0	50.0	0.0
サービス	32.1	42.9	50.0	46.4	60.7	14.3
住宅	12.5	12.5	37.5	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	28.6	39.3	50.0	53.6	60.7	7.1
雇用関連	50.0	50.0	62.5	37.5	50.0	12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



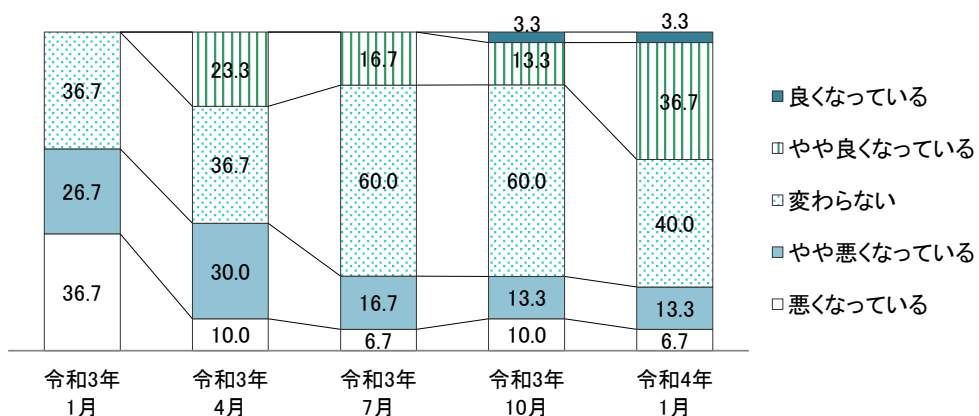
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	0.0	23.3	16.7	13.3	36.7	23.4
変わらない	36.7	36.7	60.0	60.0	40.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	26.7	30.0	16.7	13.3	13.3	0.0
悪くなっている	36.7	10.0	6.7	10.0	6.7	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

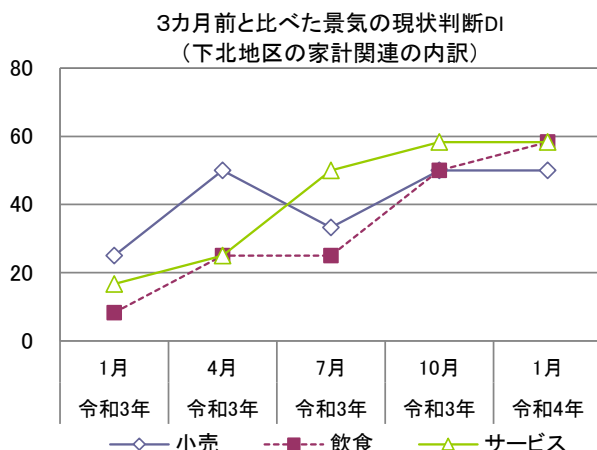
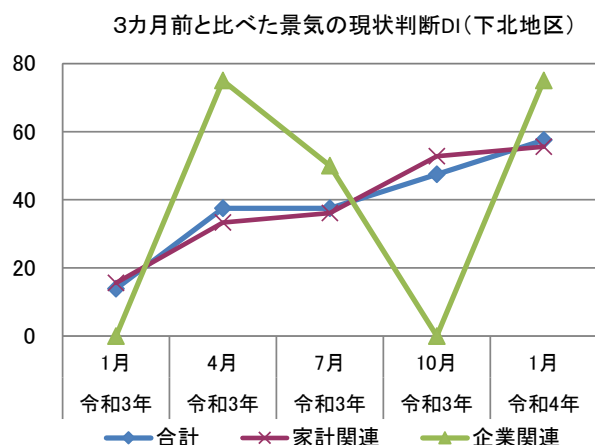


<下北地区>（参考）

①DI

n = 10

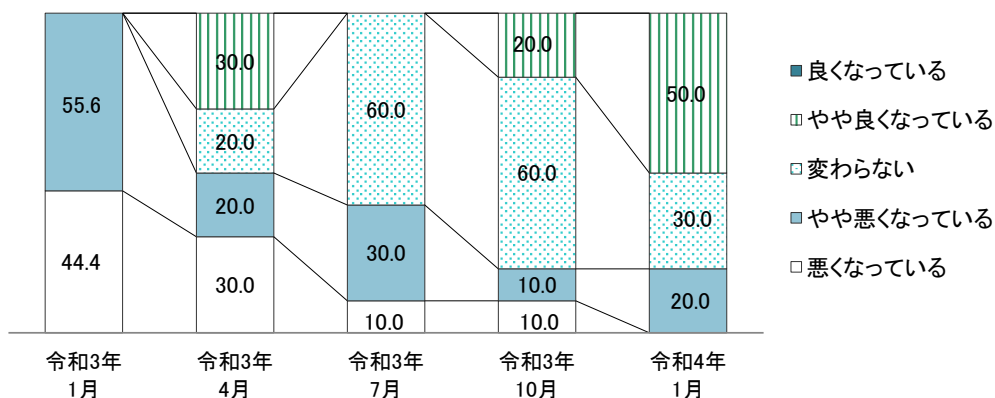
	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	13.9	37.5	37.5	47.5	57.5	10.0
家計関連	15.6	33.3	36.1	52.8	55.6	2.8
小売	25.0	50.0	33.3	50.0	50.0	0.0
飲食	8.3	25.0	25.0	50.0	58.3	8.3
サービス	16.7	25.0	50.0	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	75.0	50.0	0.0	75.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比（％）

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	30.0	0.0	20.0	50.0	30.0
変わらない	0.0	20.0	60.0	60.0	30.0	▲ 30.0
やや悪くなっている	55.6	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0
悪くなっている	44.4	30.0	10.0	10.0	0.0	▲ 10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比（下北地区）（％）



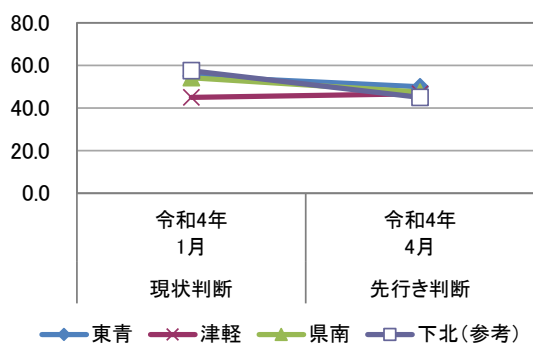
(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断D I と先行き判断D I との比較

n = 100	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
合 計	52.0	47.8	▲ 4.2
東青	55.0	50.0	▲ 5.0
津軽	45.0	46.7	▲ 1.7
県南	54.2	47.5	▲ 6.7
下北	57.5	45.0	▲ 12.5

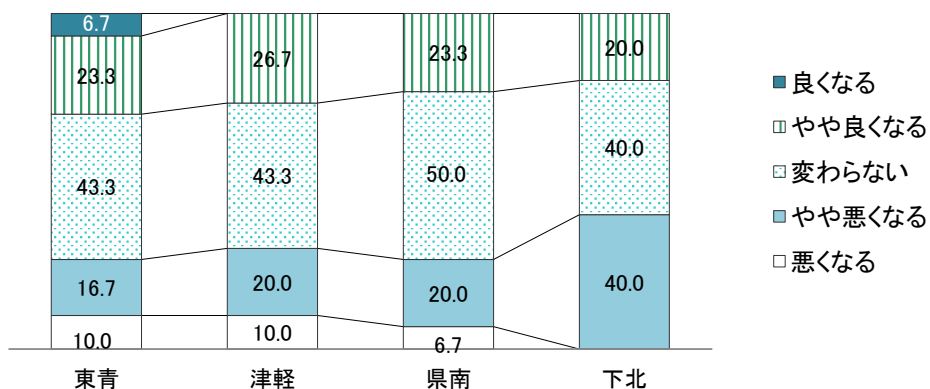
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	6.7	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	26.7	23.3	20.0
変わらない	43.3	43.3	50.0	40.0
やや悪くなる	16.7	20.0	20.0	40.0
悪くなる	10.0	10.0	6.7	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

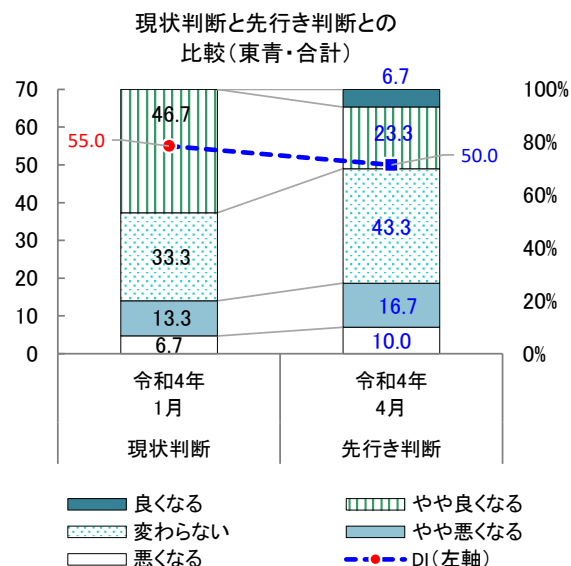
	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	33.3	50.0	47.5	68.3	50.0	▲ 18.3
家計関連	35.9	54.5	51.1	68.5	51.1	▲ 17.4
小売	41.7	52.8	44.4	66.7	61.1	▲ 5.6
飲食	16.7	58.3	66.7	75.0	50.0	▲ 25.0
サービス	33.3	56.3	55.6	75.0	41.7	▲ 33.3
住宅	50.0	50.0	37.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	25.0	37.5	37.5	68.8	43.8	▲ 25.0
雇用関連	25.0	33.3	33.3	66.7	50.0	▲ 16.7

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
合 計	55.0	50.0	▲ 5.0
家計関連	55.4	51.1	▲ 4.3
小売	58.3	61.1	2.8
飲食	66.7	50.0	▲ 16.7
サービス	52.8	41.7	▲ 11.1
住宅	37.5	50.0	12.5
企業関連	50.0	43.8	▲ 6.2
雇用関連	58.3	50.0	▲ 8.3

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
良くなる	0.0	6.7	6.7
やや良くなる	46.7	23.3	▲ 23.4
変わらない	33.3	43.3	10.0
やや悪くなる	13.3	16.7	3.4
悪くなる	6.7	10.0	3.3



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	42.5	54.2	50.0	58.3	46.7	▲ 11.6
家計関連	42.0	53.4	50.0	63.6	48.9	▲ 14.7
小売	38.9	52.8	41.7	61.1	44.4	▲ 16.7
飲食	41.7	66.7	58.3	66.7	50.0	▲ 16.7
サービス	43.8	50.0	62.5	65.6	50.0	▲ 15.6
住宅	50.0	50.0	25.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	33.3	50.0	45.8	33.3	33.3	0.0
雇用関連	75.0	75.0	62.5	75.0	62.5	▲ 12.5

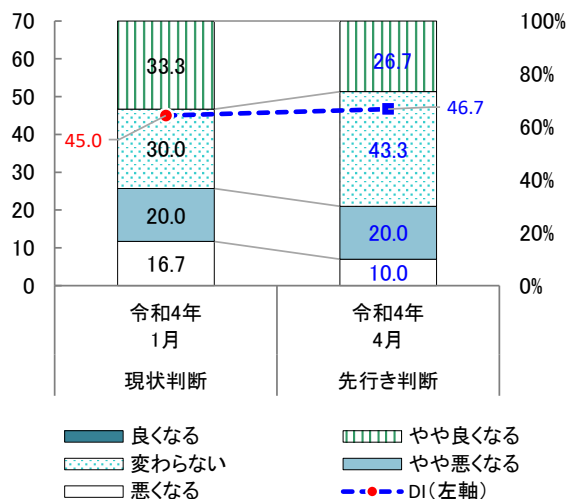
③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
合 計	45.0	46.7	1.7
家計関連	52.3	48.9	▲ 3.4
小売	38.9	44.4	5.5
飲食	50.0	50.0	0.0
サービス	65.6	50.0	▲ 15.6
住宅	62.5	62.5	0.0
企業関連	20.8	33.3	12.5
雇用関連	37.5	62.5	25.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	33.3	26.7	▲ 6.6
変わらない	30.0	43.3	13.3
やや悪くなる	20.0	20.0	0.0
悪くなる	16.7	10.0	▲ 6.7

現状判断と先行き判断との
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

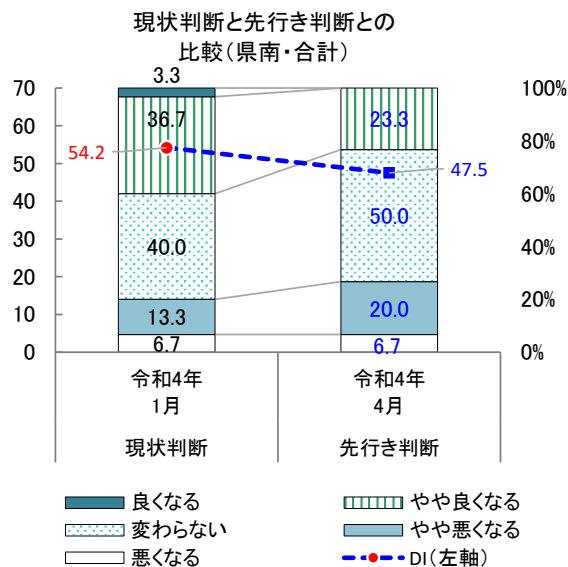
	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	37.5	48.3	60.0	65.0	47.5	▲ 17.5
家計関連	39.3	52.4	57.1	65.5	47.6	▲ 17.9
小売	33.3	50.0	55.6	63.9	52.8	▲ 11.1
飲食	41.7	58.3	66.7	83.3	25.0	▲ 58.3
サービス	46.4	57.1	60.7	64.3	50.0	▲ 14.3
住宅	37.5	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	28.6	35.7	64.3	64.3	42.9	▲ 21.4
雇用関連	50.0	50.0	75.0	62.5	62.5	0.0

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
合 計	54.2	47.5	▲ 6.7
家計関連	52.4	47.6	▲ 4.8
小売	50.0	52.8	2.8
飲食	50.0	25.0	▲ 25.0
サービス	60.7	50.0	▲ 10.7
住宅	37.5	50.0	12.5
企業関連	60.7	42.9	▲ 17.8
雇用関連	50.0	62.5	12.5

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
良くなる	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなる	36.7	23.3	▲ 13.4
変わらない	40.0	50.0	10.0
やや悪くなる	13.3	20.0	6.7
悪くなる	6.7	6.7	0.0



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	30.6	55.0	60.0	57.5	45.0	▲ 12.5
家計関連	34.4	52.8	58.3	55.6	47.2	▲ 8.4
小売	25.0	58.3	58.3	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	33.3	41.7	66.7	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	41.7	58.3	50.0	66.7	66.7	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	75.0	75.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

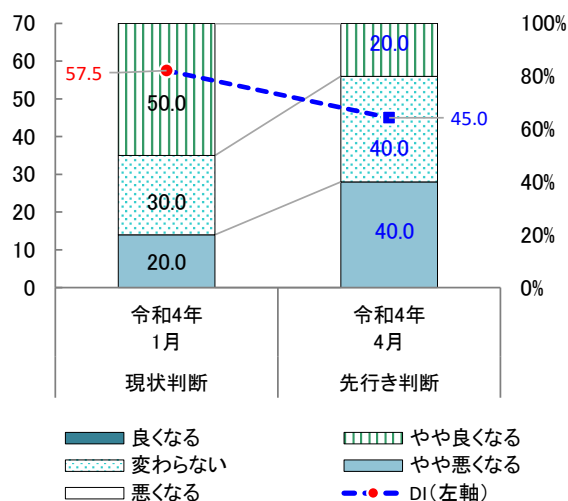
③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
合 計	57.5	45.0	▲ 12.5
家計関連	55.6	47.2	▲ 8.4
小売	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	58.3	41.7	▲ 16.6
サービス	58.3	66.7	8.4
住宅	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 1月	先行き判断 令和4年 4月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	50.0	20.0	▲ 30.0
変わらない	30.0	40.0	10.0
やや悪くなる	20.0	40.0	20.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0

現状判断と先行き判断との
比較(下北・合計)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	県南	レストラン	市内、県内の方が来店してくれるようになりました。3カ月前は県外の方が多かったのですが、県内の方が外食してくれるようになり、このまま賑わっていてほしいと思っています。
やや良くなっている	家計	東青	卸売業	飲食店が3カ月前に比べて良くなってきている。酒類関係の出荷、中でもビール瓶が高くなっている。継続できる様にコロナ対策を今一度しっかりしたい。
			美容院	少しずつ、お客様の出歩くのが多くなり、お店にも顔を出すようになりました。
			一般飲食店	年末で需要があり、人の動きもあった。ただ、雪の影響もあって、天気の様子によっても、かなり経済は左右されるなど感じています。
			一般小売店	感染者数の激減が行動マインド、消費マインドに一定の好影響を与えている。
			家電量販店	官民一体となって推進したワクチン接種が順調に進み、新型コロナウイルス感染者数が減少したため、お買い物を楽しむ方や帰省客が増えたためです。
			観光名所等	入館者数が戻りつつある。9月に臨時休館していたので、10月の出足は弱かったが、11、12月は昨年並み。コロナ前の一昨年比で、10月は半分だが、11、12月は80～90%まで回復。
			商店街	この正月明けくらいまででいえば、全国的にコロナへの対応が落ち着いた感が行き届き、人の行き来、出入りが多くなってきており、それはすなわち経済活動の活発化に繋がっていると思われるため。
			コンビニ	多少、人の流れが多くなっている。
			観光型ホテル・旅館	昨年9～10月比較すると、月を追う毎に改善している。県の宿泊キャンペーンの効果はやはり大きい。また、今後、隣県からエリア拡大を予定しているとのこと、これにもたいへん期待している。やはり、今後しばらくはキャンペーンや需要刺激策に頼る状況は続くと思う。
			レストラン	年末で、クリスマスやお節、忘年会の代わりに、お弁当やオードブルなどがよくでた。
		津軽	設計事務所	建築設計の依頼は、12～3月にかけて受注量が多いです。
			商店街	街に人が歩いている姿を見るようになった。
			美容院	一時的にもコロナが収束した気配に社会の緊張がほぐれ、経済活動が再開したように感じる。
			都市型ホテル	おでかけキャンペーン等で、やや客足が戻っている。
			スナック	コロナ感染者の減少と年末で、少しずつお客さんが出始めている。
			観光名所等	観光関連は多少底離れ。しかし、観光関連は力強さが見られない。オミクロン株の状況次第。GoToも遠のく。自動車は中古車の値上がりにビックリ！住宅関連も忙しそう。発注しても他の現場も未完成。
		県南	商店街	新型オミクロン株の情報が比較的に楽観的に伝わっていて、あまり危機感を感じている人は多くないように感じるから。また、年末年始は帰省客が多かったように感じるから。
			旅行代理店	秋には修学旅行が実施され、全国的にコロナが落ちついていたので、一般の方々も旅行に出やすかった。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	県南	娯楽業	コロナ感染の収束に伴い、人の流動が良くなった。
			タクシー	一応、「コロナ」も落ち着いてきた様に見える。また、年末年始で人が街に出てきた。そして、それなりに売り上げも上がった。
			衣料専門店	2021年9月までのコロナ禍と、10月からの感染低下状況により、店売上は急回復。10月～12月はほぼ2019年と同じ金額ベースの推移となっている。1月もオミクロン株の影響が上旬は無いので、10月～12月と同じく、2年前の金額ベースに近づいている。但し、2019年10月～増税、暖冬あり。
			一般小売店	オミクロンは気になるものの、日本の状況は海外程、深刻では無い。
		下北	スーパー	色々な行政支援のほか、コロナの影響が少なくなったことにより、徐々に人との交流が広まり、外に出る機会が増え、関連するものが動き始めている。しかし、またコロナの蔓延により状況変化中。
			ガソリンスタンド	コロナのデルタ株が落ち着き、イベントも開催され、飲食店も元通りとまでは行かないが、持ち直したようでした。
			タクシー	一時的な状況かもしれませんが、外出する方が増えていると思います。
	企業	東青	経営コンサルタント	コロナ前と比べると、景気の回復はまだ追いついていないが、前年同月・3カ月前と比べると、徐々に景気は回復している。
			広告・デザイン	2022年1月の初売りで、来場、売上共に2020年1月並みの数字に戻ったクライアントが多かった。ただ、2019年1月には届かないということなので、そこが今後の景気回復尺度となるか。
		県南	飲料品製造	コロナ感染第5波が落ち着き、夜の町での飲食や団体の会合の懇親会なども少しずつ増えてきた。
			紙・パルプ製造	新型コロナは少し落ち着いてきたと思われ、経済や人の動きが少しずつ戻ってきた。但し、新たな変異株により、第6波が懸念される。
			建設	会社の忘年会など大規模の開催はできていないが、ワクチン接種が進み、コロナ感染がある程度おさまってきたことから、ほとんどの会社では部署単位、又は、少人数の会食は許可がおりて、飲食店も3カ月前よりは景気がよくなったと思う。しかし、県内でもオミクロン感染が確認されたことで、やや良くなっているという進行形ではなく、やや良くなっていたの過去形が正しい表現となる。
			経営コンサルタント	ひとりの自粛ムードもだいぶ収まり、経済活動も徐々に通常モードに戻りそう。あとは、企業の投資意欲が戻ればいいのだが。
		下北	食料品製造	コロナがある程度、下火になりつつあり、人々の動きも出てきた。
変わらない	家計	東青	人材派遣	業務量が増えたクライアント様からの人材オーダーが微増しているため。
			都市型ホテル	県民割、GOTO等の施策が打ち出されるなか、オミクロン株が拡大し、第6波の懸念がある。
			旅行代理店	コロナウイルスが収束せず、旅行計画等がキャンセルとなっているため。
			設計事務所	日々、生活の中で景気の多少の浮き沈みは起きているのかもしれない。しかし、その現象を感じる事は殆どなく、周りも平穏に推移している様に見える。仕事も少なからず、継続の状況にある。
			娯楽業	年末の大雪で客足が悪かった。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	スナック	変わらなく悪くなっていると思う。コロナが今度オミクロン。試練が続きます。
			乗用車販売	コロナの影響による、景気停滞感が続いている。
			旅行代理店	新型コロナウイルスの感染が再度増えたことにより。
			ガソリンスタンド	新型コロナウイルス感染症第五波の影響が下火に向かっていた矢先に、第六波(オミクロン株)の感染拡大が懸念され、宿泊、飲食業はかなりのダメージを受けている。外出、行動自粛の規制から大変厳しい状況にある。
			一般飲食店	オミクロン株の流行で先行きが見えない。
			住宅建設販売	お客様の動向や、問合せ相談件数そのものがこれまでと変わらないから。
		県南	百貨店	中心街、郊外ともに駐車場が大変混雑している。年末年始で人が移動したからだと思うが、家族で買い物をする人が増えている。コロナ禍で、目的買いだけだったのが、買い物時間を楽しむ人が増え、滞留時間が長くなっている印象。県内はコロナ感染者が抑えられている為か、夜も飲食店は客数が戻っている。外出の機会が増え、ファッションの買い物をする若い女性が目立つ。
			美容院	固定客の割合が多いせいか、あまり変化は感じません。
			一般飲食店	まだ以前の様な状態に戻りつつ感じられるが、良い悪いの波があり、不安定な状態が続いている。
			家電量販店	年末はガソリン・灯油代の高騰や、12月中旬以降は気温が低くなりましたが、暖房商品が苦戦。15才未満の世帯への現金給付もありましたが、急な売上増とはならなかった。
			観光名所等	客入数、売上共に、変化が見られない。
		下北	コンビニ	売上が悪いまま。
			一般飲食店	コロナ禍の中で、おうちで過ごす人が多くなり、なかなか出足が悪い。
	企業	津軽	経営コンサルタント	12月頃までは、県内の新型コロナウイルス発生も落ち着き、買い物客・飲食店等も少しずつ人出が回復しており、年末年始のホテル・旅館の利用者も以前のようにとはいかないまでも、昨年と比べると、各市町村や県の宿泊割引キャンペーン分は、即売に近い予約状況であったようです。市内の飲食キャンペーンの商品券が発売開始1時間余りで完売する様子でしたが、成人式後からクラスターが分散して、発生する状態となり、予定されていた新年会や例会・懇親会は相次いで中止、もしくは延期となっています。
		県南	電気機械製造	国内海外共に、工場設備向けの受注が多いです。特に、欧州はクリーンエネルギー関連で盛り上がっていて、日本にも多くの発注が寄せられている。しかし、半導体不足で物作りの世界はすこし足かせをかけられている。
			広告・デザイン	コロナが一旦、終息した様に見えるが、イコール、仕事(イベント等)が従来通りにあるとは思えない状況(様子見している状況がある)。
		雇用	東青	コロナ感染拡大が一時的に落ち着いたものの、いまだ様子見をしている状況と思われ、景気が回復していると実感できるほどの状況にはなっていない。
		県南	新聞社求人広告	業種にもよるが、コロナの影響が長引いているため。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	9月後半から10月にかけて、やや持ち直した感があったが、11月・12月は前年に市内で商品券の発行もあり、前年キャッチするに至らず。
			住宅建設販売	市内豪雪のため。住宅に対しての税制優遇が無くなったため。
			衣料専門店	夏以降の悪化するコロナ情勢が、年末以降も続いている。
			スーパー	前年は巣ごもり、内食需要増で売上が堅調でしたが、その反動でかなり厳しい状況。
		津軽	コンビニ	売上げが上がる要因が無い。
			家電量販店	商品の入荷＝品不足の影響が色濃くなった。
			レストラン	コロナ感染者がかなり増えているため。(1/12現在)
			一般小売店	前年比のマイナス幅が前の3カ月前に比べ増えている。10月が商店街のプレミアム商品券で前年がよかった分、今期落ち込みが大きかった。
		県南	乗用車販売	コロナの影響で自粛が続いており、外出の機会が減っている。
			コンビニ	商品の値上げ。
			住宅建設販売	ウッドショックや政府の住宅政策の縮小による住宅受注客の減少。
			下北	都市型ホテル
企業	県南	食料品製造	先行き不透明感からの消費控え。	
雇用	津軽	新聞社求人広告	年末年始の寒波・大雪に加え、コロナ禍で出控える人が多く、正月商戦に影響した。その後も寒波続きで、燃料費や暖房費が家計を圧迫するようだと、個人消費の伸びは期待できない。	
悪くなっている	家計	東青	タクシー	昨年の暮れは年末に向けて景気も上向き加減に転じかけたような肌感覚がありましたが、年末から現在(1月14日)もなお尾を引いている降雪災害とコロナウイルス・オミクロン株の全国的な増幅拡大により、せっかくの景気の回復基調もまた明らかに後退モードに転じてしまったようです。
			津軽	スーパー
		衣料専門店	去年の11月あたりから景気回復傾向に向かったが、今年のコロナ禍でまた悪くなってきた。	
		県南	スナック	今は良いが、すぐだめになると思う。オミクロン株の話がすごいので。
	卸売業		コロナの拡大のために、予約を受けていた注文のキャンセルが続いている。	
	企業	東青	食料品製造	軒並みの値上げで諸経費がかさみ、販売価格に転嫁せざる得ない状況でも、零細企業の値上げはたいへん厳しい。
			津軽	食料品製造
			広告・デザイン	売上高の減少、受注物件の減少等。
電気機械製造		生産調整が入り、受注が減少している。		

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	卸売業	年末年始の人の往来で、感染者が多くなってきているが、ワクチン接種、対策を万全にしていけば、家庭用、飲食店用のイベントも多くなってくると思われる。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	イベント等が少しずつ始まり、動きが良くなりそうです。
			商店街	一旦、コロナ対応が落ち着いた感覚を持ったところでの、重症化リスクが小さいかもと言われている、オミクロン株の猛威による感染者急増。これが全国的に報道されていることにより、影響がどちらの方向に動くかが、正直読めないのも、「わからない」としたいところだが、様々な薬剤も出てくる中、昨年未までの一度ほっとした感が、急激にしぼむこともない可能性もあろうと思い、「変わらない」とした。
			一般飲食店	やや良くなると見通したが、やはりコロナの新しい亜種などの影響を考えると、人の動きがどのようになっていくのか、様子を見守るだけです。
			美容院	少し良くなるように願います。
		津軽	一般飲食店	コロナの治療薬が出るため。
			設計事務所	昨年度は新型コロナが大流行、今年度はそれに加えて、ウッドショックを始めとした各資材等々の値上げで、計画していた事業を実行できないクライアント様が大勢いたと思います。しかし、いつまでも中止したままという訳にはならないのでは。そのような動きが感じられます。
			コンビニ	キャンペーン等で人の動きがあれば。
			商店街	さくらまつりが開催されると、観光客や地元の人も街に足を運ぶようになると思う。
			観光名所等	オミクロン株次第。
		県南	衣料専門店	コロナ感染の終息状況による。但し、オミクロン株による第6波が急拡大した場合は、外出制限、自粛となり反転する。
			タクシー	極端には変化はないだろう。けれども、やっぱり変化してもらいたい。
			百貨店	オミクロン株の新規感染者が日々急速に広がっており、年始明けで日常が戻ってくると、また外出自粛をする人が増える。また、相次ぐ食料品の値上げや受験シーズンを控えていることから、出費と人との接触を抑える傾向が強くなると考えられる。春の新生活までは、景気は上向きになるとは考えにくい。
			ガソリンスタンド	大分、人流も戻り始めている。この後、新たなコロナ変異株の影響次第だと思われるが、感染傾向が拡大しないという期待をこめて。
			一般小売店	不動産投資(新築マンション等)が動き始めている気がする。
		下北	都市型ホテル	3カ月前であれば、オミクロン株も少し落ち着き、景気も上向くと思う。
			タクシー	変わらないか、やや良くなるで、かなり迷いました。新しい変異株でどのようなになるのか、わかりません。良くなってほしいという希望です。
	企業	東青	広告・デザイン	年度末・年度始の世間のイベントがあり、国からの各種コロナ対策金も支給される事から、2019年1月並みとはいかずとも2020年1月並みの消費動向が続くと思う。(ただし、オミクロン株の蔓延、ワクチン3回目接種の実施開始時期も関係してくる。)

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	企業	東青	建設	コロナ対応を含め、令和4年という年が「調整弁」として働く事を期待しています。
		県南	広告・デザイン	ここに来て、感染力の強いオミクロン株が拡大していることが、今後どの様に影響していくのか予想できない。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	新型コロナウイルスの感染状況次第だが、雪解けとともに、旅行や観光機運の高まりに期待をかけた。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	新規感染者が増大しているため。
			一般小売店	正月明けの「波」の大きさによって予断を許さない。
			ガソリンスタンド	新種のコロナウイルスの出現が先か、それに対するワクチン開発が先か、この繰り返しが続いていくような感じがする。
			住宅建設販売	税制優遇、補助金の確定が出ると変わるが、いつになるか不透明なため。
			娯楽業	新型コロナウイルス感染症が収束することなく、景気が上向かないまま向かいそう。
			百貨店	天候・感染症の拡大状況次第です。
			設計事務所	良くなる要因は見えないが、極端に悪くなる要因もないように願う。春の足音が聞こえ始めれば、経済活動が少しずつ動き始めるので期待したい。
			スナック	全く見当が付きません。コロナが多少落ち着きを見せてましたが、まだ続くと思いますと、体調が悪くなります。
			スーパー	景気が良くなる理由が見当たらない。
		津軽	乗用車販売	コロナの終息が見えない上、さらに感染が広がってきている。
			一般小売店	11月から少しよくなっているが、寒波・大雪・オミクロンで良くなりそうな気配が帳消しになりそうである。
			ガソリンスタンド	新型コロナウイルスの感染状況を見ると、先の見通しがたたず、終息までは、まだまだ時間(期間)を要すると思料する。
			家電量販店	景気を左右する程の直観的な材料が現在のところ見当たらない。
			住宅建設販売	お客様の動向や、問合せ相談件数そのものがこれまでと変わらないから。
		県南	美容院	オミクロンの落ちつき次第ですが、今のところ、あまり変化はないと思います。
			住宅建設販売	オミクロン株の影響が不明のため。
			乗用車販売	コロナ感染が拡大傾向。
			観光名所等	特に変化が見えない。
			スーパー	コロナ第6波により、再度、悪化するのではないかと考えている。
			一般飲食店	新しいコロナが出始めている為、これからどのような状態になるか不透明。最悪だと第6波も考えられるため、油断禁物な感じがします。
			卸売業	コロナの終息が見通せるだけの、ワクチンも治療薬もできていないように感じる。
			家電量販店	オミクロンウイルスの感染増により、お客様の行動が少なくなると思われる。
		下北	ガソリンスタンド	オミクロン株の流行次第で良くなるのか、また悪くなるのか。早く終息して欲しいです。
			コンビニ	マスメディアが不安をかきたてるから。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	一般飲食店	物価は上がるし、オミクロン株は異常なまでの増え方だし、ようやく腰を上げようとしたのが、また、先に戻ってしまった感じです。
			企業	津軽
			広告・デザイン	悪い状況がしばらくは続くと思われる。
		県南	紙・パルプ製造	新型コロナの第6波が懸念される。
			経営コンサルタント	今後3カ月くらいだと景気が良くなる要素がない。また、悪くなる要素もない。我慢の経営が続くのではないのでしょうか。
			電気機械製造	半導体不足や、物流の混乱はまだ続きそうで、それによる一部の値上げが経済活動を少し足を引っばると見込まれます。また、日本の賃金上昇も気になるところ。
			飲料品製造	オミクロン株の第6波はあるが、感染防止対策などの対応の強化がすすんだり、それによって、通常化しようとする雰囲気が出てきていると思う。マイナスとプラスでとんとん。
			雇用	東青
	人材派遣	オミクロン株の拡大次第だが、まだ消費行動に消極的・様子見の企業様が多い。		
	津軽	人材派遣		現在、新型コロナ感染者急増中であるが、今後、買い物等、極力外出を控える方が増え、景気に悪影響を及ぼすと思う。しかし、今回流行のオミクロン株はピークアウトも早いと言われているので、その後の人出回復も早いのではないかな。
		県南		新聞社求人広告
やや悪くなる	家計	東青	観光名所等	現在、全国的にコロナ感染者数が爆発的に増えていることと、閑散期となるため。職種、コロナウイルスの感染状況に直結している。
			衣料専門店	専門家は感染力が強いが、重症化はしないと言われる新型コロナ、報道は急激に増える感染者数で危機感をあおる。市民は周りを監視するようになっており、こっちの方が怖い。
			レストラン	毎年のこと。今年は雪が多く、人もあまり出ないのでは。
			家電量販店	12月28日、12月31日に県内で感染が確認された方がオミクロン株と判明したためです。
		津軽	都市型ホテル	オミクロン株の動向が不透明なため。
			スナック	年末年始の人出で、新型コロナオミクロン株の感染者が増えているから。
			美容院	オミクロンによる第6波のピークが来るのではとの予想が一般的。
		県南	旅行代理店	コロナ第6波がきており、新しいオミクロン株の出現、ワクチン3回目接種の開始等で荒れると思う。
			レストラン	飲食店(居酒屋)は、コロナ(オミクロン株)の影響を受けやすく、このままだと、歓送迎会も難しいのかなと思います。仕出し弁当で乗り切れるといいな。
			商店街	年が明けてからオミクロン株の情報が少しずつ増え、第6波を懸念する声が少しずつ増えてきているから。
			娯楽業	最近、新型コロナのニュースが多くなり、第6波の感染爆発が起こる不安があるため。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	県南	コンビニ	新型コロナウイルス変異株の影響。
		下北	一般小売店	年末からまたコロナが増え始め、第6波を迎えそうなのと、あらたにオミクロン株などの警戒が必要で、また去年のコロナ禍に逆戻りしそう。
			スーパー	交流の減少、不安による支出減少など。
	企業	東青	経営コンサルタント	コロナウイルスの変異株による行動制限は増加してくると思われ、3回目のワクチン接種が進んでくるが、オミクロン株の影響のほうが大きい。
		津軽	経営コンサルタント	これから新型コロナウイルスの感染が広まりをみせており、訪問先の事業所でも濃厚接触者に認定され、出勤停止となっている従業員がすでに散見されています。高齢者等は、また外出を制限するでしょうし、落ち着きを取り戻せるまでは、もうしばらくかかるのではないかと思います。
		県南	食料品製造	先行き不透明感からの消費控え。
悪くなる	家計	東青	都市型ホテル	県民割、GOTO等の施策が打ち出されるなか、オミクロン株が拡大し、第6波の懸念がある。
			タクシー	昨年の暮れは年末に向けて景気も上向き加減に転じかけたような肌感覚がありましたが、年末から現在(1月14日)もなお尾を引いている降雪災害とコロナウイルス・オミクロン株の全国的な増幅拡大により、せっかくの景気の回復基調もまた明らかに後退モードに転じてしまったようです。
		津軽	スーパー	各業態、業種の値上げが大きく影響しているため。
			衣料専門店	コロナ禍で売れなくなるため。
		県南	スナック	オミクロン。
	企業	東青	食料品製造	オミクロン株の蔓延がせまっているので、また水産物の消費が減ると思う。
		県南	建設	全国的にオミクロン感染が増加してきており、以前の第5波より、今回の第6波の方が過去最大を更新する予想がでていることから、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発表されると景気が一気に下降へと向かうことになる。今まで政府からの支援対策が功を奏して、倒産件数は減ってはいるが、今回、再度緊急事態宣言などが発表されると、経営体力のない企業は店じまいや倒産へと向かうことになる。

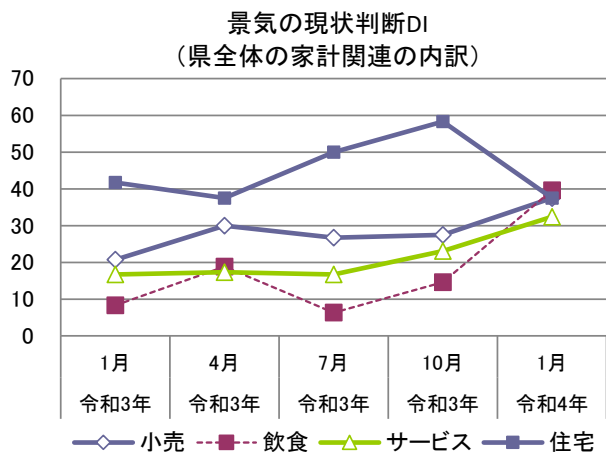
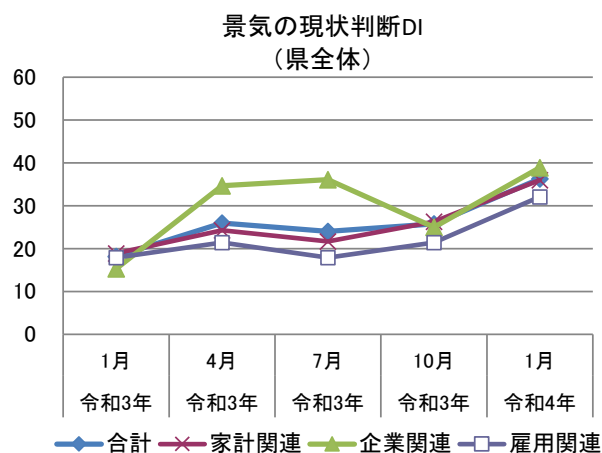
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

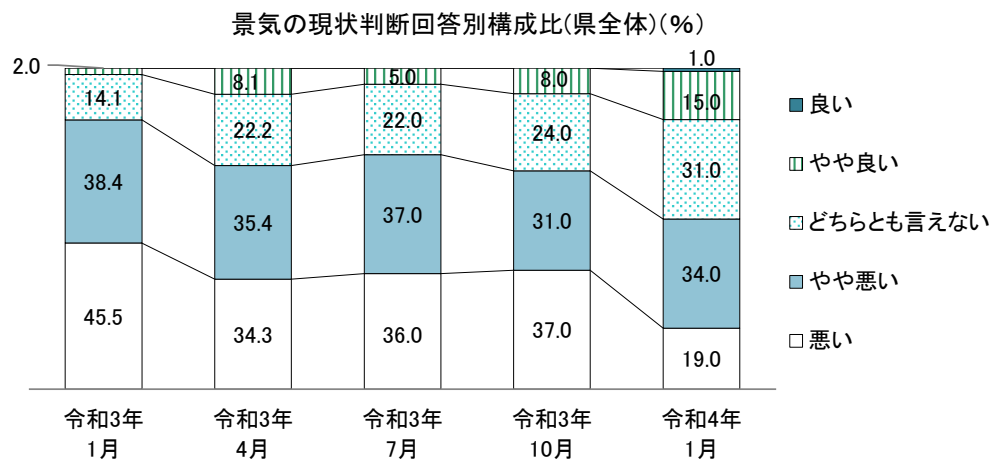
n = 100

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	18.2	26.0	24.0	25.8	36.3	10.5
家計関連	18.9	24.3	21.7	26.3	36.0	9.7
小売	20.7	30.0	26.7	27.5	37.5	10.0
飲食	8.3	18.8	6.3	14.6	39.6	25.0
サービス	16.7	17.3	16.7	23.1	32.4	9.3
住宅	41.7	37.5	50.0	58.3	37.5	▲ 20.8
企業関連	15.3	34.7	36.1	25.0	38.9	13.9
雇用関連	17.9	21.4	17.9	21.4	32.1	10.7



②回答別構成比 (%)

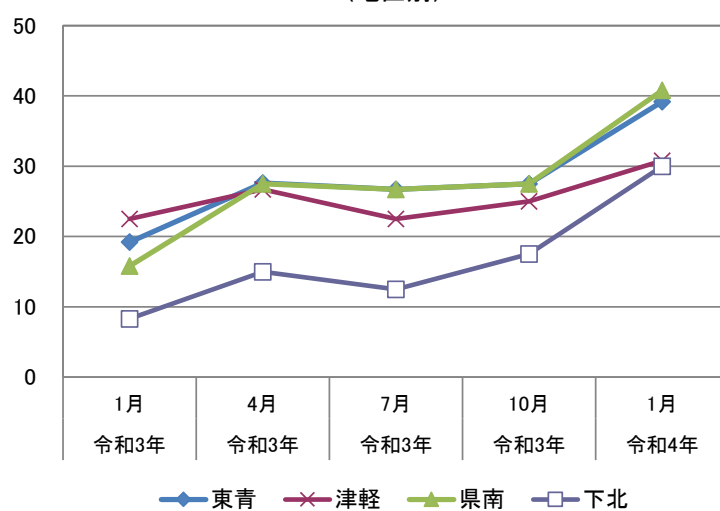
	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
やや良い	2.0	8.1	5.0	8.0	15.0	7.0
どちらとも言えない	14.1	22.2	22.0	24.0	31.0	7.0
やや悪い	38.4	35.4	37.0	31.0	34.0	3.0
悪い	45.5	34.3	36.0	37.0	19.0	▲ 18.0



③地区別DI

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	18.2	26.0	24.0	25.8	36.3	10.5
東青	19.2	27.6	26.7	27.5	39.2	11.7
津軽	22.5	26.7	22.5	25.0	30.8	5.8
県南	15.8	27.5	26.7	27.5	40.8	13.3
下北	8.3	15.0	12.5	17.5	30.0	12.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	一般飲食店	この2年、たしかに外に出なくなった分、お客さんが来た時は、まとめてつかってくれるようにも思いますが、先行きの不安のせいか、やはり辛抱してる部分もある。
		レストラン	とにかく市内の除排雪が追い付かない状態で、クリスマス時期も1時間かかると言われ、お客様が困っていた。
		一般小売店	一昨年・昨年と比較して今回の年末年始は、帰省客も非常に多く、飲食店等の経済は大きく活性化するように肌で感じる。
		衣料専門店	駅前に市庁舎ができ、市内の駅が東西自由通路が開通し、ホテルと美術館を伴う駅前開発、百貨店はマンションと商業施設を伴う開発、街中には路面階を商業施設にしたホテル、マンション開発と明るい材料がいっぱいだが、コロナが・・・。収束後の速やかな景気対策を期待している。
		商店街	急激なオミクロン株の猛威報道が続くが、今はまだ、12月までの経済が動き始めた感じの流れである。ウイルス対応に関する冷静な分析報道を望みたい。
		住宅建設販売	建材の高騰！建材の納期遅延！
		家電量販店	昨年、感染防止のために中止した年始の詰め放題企画を1回3名様に限定して、感染防止対策を図り実施いたしました。
		美容院	出歩く事が少なくなったと思いますが、やはりお買物とか知人たちに会いたいのでしょう。良い方向になってほしいです。
		卸売業	人数の制限があっても、忘年会等のイベントが復活してきている。
		スーパー	大雪で来店頻度減少、客単価アップが見られます。しかし、必要なものしか購入しない。節約志向が高まっています。
		観光名所等	年末、外国人のお客が多かった。国内在住の外国人と思われる。
津軽		美容院	SNSによる経済活動が活発になってきた。
		商店街	飲食店に隣接する小売店は、飲食店に人が集まらなると、売上が下がっているように感じる。
		観光名所等	駅前や職場へ通勤する人や学生達などに明るさがでてきた。ほぼ一昨年並みなれど、外客がみられない。
		スナック	経済は上向きになって欲しいのですが、コロナ感染者の増減でまだまだ不安定なので、継続的な国、県、市の支援、又は、対策を続けていかないと、飲食業やそれに係る業者が厳しい状況。
		一般小売店	当社（所有）の隣の飲食ビルに入居している3店舗は12月の水道料金がコロナ前の水準であった。12月は飲食業は良かったと思う。
県南		スナック	外に出なくても良い感じになってしまった。慣れた。
		ガソリンスタンド	原油高、円安の進行により、ほぼ全ての原材料の価格が上昇し、消費に対し、節約志向が感じられる。
		一般飲食店	国政、市政が新しくなり、どの様に運営していくのかがまだはっきり分からないので見守り中。
		百貨店	小売業なので、衣料品は冬物のセール中であるため、通常より安くなった商品をまとめて購入するお客様は見られる。テレビや雑誌で人気のブランドの商品は、コロナ禍でも前年を上回る好調な売上を確保しており、どんな状況であれ、人気の商品は売れるし、買いに来る。去年は帰省自粛の動きが強く、お土産品の売上前年比50%以下だったが、今年は帰省する人も増え、お土産品の売上も戻りつつある。
		商店街	相変わらず外食ではなく、自宅での食事や時間を大事にしているように感じる。
		美容院	多少、来店頻度が遠くなりつつあります。外出が少ないせいか、食べ物が多く消費されている様に感じます。
		衣料専門店	同じ中心商店街の大型店舗の運営状況が、不安定と見受けられる。
		卸売業	配達を希望されるお客様が増えている。
下北		スーパー	コロナ対策基本行動による外出・会合等の減少。

分野	地区	業種	自由意見
家計	下北	ガソリンスタンド	原油の高騰で燃料油の高値が続き、家計や経費の圧迫が懸念される。
		コンビニ	本当に欲しい物しか買わないように思う。
企業	東青	建設	オミクロン種が出て来てはいるが、「コロナに対する恐怖心」は薄れているように感じます。
		食料品製造	やっと行動できると安心したのもつかの間、やはり控えた方がいいだろうとキャンセルしている話を聞きます。
		広告・デザイン	各種フェア、展示会、スノーフェスティバル等のイベントが昨年同時期は中止→今年は実施、となっている。
		経営コンサルタント	半導体不足による製品の納入遅れが顕著になってきており、車両販売・住宅設備に影響がでてきている。原油価格が1バレル当たり、70ドル以上となってきており、物流・運送業はダメージを受け、冬場の家計にも影響がでる。
	津軽	食料品製造	原材料が高騰する中で、価格に転嫁できない経営を圧迫し始めている。
		建設	新型コロナで状況が、益々きびしくなっている。1人1人気をつけるしかない。毎年の事です が、雪の多さと道路の狭さに苦労している。学校が始まる前に通学路の確保はやってほしい。道路の除排雪も早目をお願いしたい。
		広告・デザイン	対面営業に制限があり、積極的な経営ができない状況が続いており、今後どうすれば良いのか。
		電気機械製造	半導体不足の影響が出始めて来ている。回復までに時間を要する事から、どこまで影響が出るか心配である。
	県南	経営コンサルタント	コロナで人員の解雇だとか、仕事がないだとかのニュースはよく聞くが、市域の人手不足は変わらない。若者はどこに行ったのでしょうか。
		広告・デザイン	コロナ禍になって、どうしても大変さをうたわれているのが、飲食、観光、それに伴う産業であるが、我社の様に集客を目的とする広告業(イベント業)が取り上げられないのが残念。
		電気機械製造	多くのことがリモート会議で行われている。比較的小堅い仕事ぶりの取引先も、先月久々に訪問したら、大型モニターをたくさん買って、どの部門もWeb会議で仕事するようになっておりビックリ。早速、当社もIT機器の充実に走っているところです。
		建設	様々な原料が高騰したことで、食品値上げや飲食店の価格値上げなど、目に見える経済への悪影響がでてきている。
雇用	東青	新聞社求人広告	豪雪、燃料価格高止まり、各種値上げ、消費が冷え込む要素が複数重なり心配です。
		人材派遣	人材不足が顕著になってきている。求人に対しての応募などの求職活動が少ない。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津 軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県 南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下 北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニエンスストア、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、娯楽業、ガソリンスタンド
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166 (直通)

fax : 017-734-8038